

# 会報 第29号

2019年6月



一般社団法人赤煉瓦倶楽部半田  
会報  
発行人/理事長 馬場信雄  
〒475-0836 半田市青山5-2-14

TEL/FAX:0569-24-4324  
http://www.akarenga-handa.jp  
E-mail:redbrickhanda@yahoo.co.jp

## NEWS目次

- 01 2019 新春合宿開催される!
- 02 半田赤レンガ建物の”雛まつり”
- 03 名鉄 JR ハイキング開催される!
- 04 神戸フロインドリーブ訪問

### 特集 調査研究報告

「盛田善平展・ドイツフェスティバルに向けて」  
～報告者:竹内 進～

### 今後の事業計画

- ① カプトピールフェスタ 2019
- ② キャナルナイト
- ③ 2019 特別展
- ④ ドイツフェスティバル

## NEWS 01

### 2019 新春合宿が開催されました!

2019年2月16日(土)、恒例の新春合宿がアイプラザ半田にて会員他〇〇名の参加を得て開催されました。 先ず、馬場理事長の挨拶に始まり、



ご来賓の滝本均半田市市民経済部部長、榊原宏半田市観光協会事務局長、服部宣裕半田赤レンガ建物館長からご挨拶を頂戴しました。 第1部は

平成30年度の事業報告に始まり、赤煉瓦ネットワーク横浜大会・旧奈良監獄見学会



報告のあと、次年度事業計画を検討しました。馬場理事長から基本方針案として「より倶楽部らしい、倶楽部だから出来る活動・事業に絞って強かに推進し、半田赤レンガ建物、カプトピール本来の価値・

魅力を大きく顕在化させたい!」と表明を行い、その後各委員会の事業計画案を各委員長から説明、検討を行いました。平成31年度事業計画案の目玉として盛田善平展(9月)と赤レンガ探検隊パネル展(4~5月)そして近代化遺産見学会などが発表されました。

第2部は新年交流会、服部館長から差し入れていただいたカプトピールによる乾杯でスタートしました。そして、楽しく交流を深める中、榊原理事長の絶妙な司会進行により、参加者の皆さん全員から第1部では話せなかった提言や感想を多数頂くことが出来て、とても有意義な会となりました。新春合宿での検討成果は確実に計画に反映されると思います。(宮原記)

## NEWS 02

### 半田赤レンガ建物の”雛まつり”

3月2日(土)・3日(日)半田赤レンガ建物で恒例のひな祭りが開催されました。恒例のイベントとして、毎年たくさんの家族連れが半田市内外から半田赤レンガ建物に訪れます。今年も昨年以上にバージョンアップした120組を超えるガラスのお雛様



半田市報の表紙に掲載されました

と柔らかな光のLEDが織りなす幻想的なゆめホテルで、素敵な空間を演出し、ご来場の皆さんの心奪う感動を与えました。

また、倶楽部員が法被を着てカプトビール並びに関連グッズの推奨販売を行いました。全般的に幅広い年齢層の方々

に明治の文化漂う旧カプトビール工場の魅力を再発見していただけたと思います。(平岡記)



じないままお帰りになる状況でした。その問題を解決するためにテストとして以前の導線の北の入り口から入るコースに戻してお客様をお迎えしたところ、お客様は大満足。常設展示室を無料開放しガイドを各所に配置した結果、多くのお客様が入場され、半田赤レンガ建物・カプトビールの価値・魅力を知って頂きました。また出口付近の生カプトビールコーナーには久しぶりに列が出来ました。大成功



に終わった今回の導線・無料開放は今後も機会を見て実施すべきだと強く感じました。

(小林記)

## NEWS 04

### 神戸フロイドリーブ訪問

2月18日(月)、馬場理事長、理事・監事一行4名で神戸の老舗、ドイツパン・洋菓子の名店フロイドリーブを訪問しました。10月に開催を企画している「ドイツフェスティバル」及び「盛田善平展」への協力依頼が目的です。

叔父の4代目中埜又左衛門のもとで、カプトビールを全国ブランドにまで育てた盛田善平。善平は本場ドイツの最新設備や技師に徹底して拘りました。その後、善平は、名古屋のドイツ人捕虜収容所にいたハインリッヒフロイドリーブと出会い、技師長に招いて敷島製パンを創業します。ハインリッヒは敷島製パンを退職後、日本人の妻ヨンと神戸市中山手にパン屋を開店。本格的なドイツパンを日本に広め、後にNHK連続テレビ小説『風見鶏』のモデル

## NEWS 03

### 名鉄 JR ハイキング開催される!

名鉄 JR ハイキングが3月9日に開催されました。



天候に恵まれ、7,100名ものお客様が来館されました。常時公開前までのハイキングでは北側の入り口から入り、途中歴史や建物の構造を見学し、最後に現在のショップ・カフェ部へ来るという順路でした。しかし、2015年の常時公開

後は導線が代わり、東側から入ることになった結果、いきなりショ



ップコーナーでお客様はどうしたらいいのか迷われ、ほとんどのお客様は何の建物?という疑問を持たれたまま、またカプトビールの魅力・価値もご存



として一躍有名になりました。

一行は経費節約のため JR ハイウェイバスで 8:35 に名古屋駅を出発し 11:37 に三宮バスターミナルへ到着しました。新神戸駅方面へ向かって歩き、まもなくフロイドリーブに到着しました。旧ユニオン教会を活用した店舗は、有名な米国人建築家ヴォーリーズの作品で国指定の有形登録文化財にもなっています。月曜日にもかかわらず、玄関先から 1F のショップ前、2F のカフェに続く広い階段には席待ちの行列ができていました。

幸い予約しておいた我々は、お洒落なカフェでエビカツサンドありつくことができました。焼きたての白パンはドイツパンにしてはとてもソフトで、美味しくいただきました。



ランチを済ませ、ヘラ・フロイドリーブ・上原社長様に面会、あらためて赤煉瓦倶楽部半田の活動を紹介、協力を依頼しました。教会を店舗にリノベーションし、地元神戸でのパン作りに拘るヘラ社長は、カプトビールを復刻し半田赤レンガ建物の保存と活用に取り組み我々倶楽部に大変理解を示され、全面協力をお約束いただきました。どんなコラボになるかは 10 月までのお楽しみとさせていただきます。



もちろん帰途もバス。帰宅したのは深夜でしたが大変充実した 1 日でした。(中野記)

## 特集 調査研究報告

### 「盛田善平展・ドイツフェスティバルに向けて」

～報告者：竹内 進～

調査研究チームは、来年度に計画されている特別展「創業者・盛田善平の全てを辿る(仮称)」に向けて、情報収集・資料集めに鋭意、踏査活動中であります。盛田善平の情報収集に欠かせないのが、何んといっても「敷島製パン」です。善平は敷島製パン(パスコ)の創業者であると共に、カプトビール(丸三麦酒)の創業者の一人でもあります。

9 月下旬、馬場理事長と一緒に本社(総務部広報室)を訪問する。広報室長の K さん、広報室チーフの I さんに主旨を説明し、資料提供をお願いする。奇しくも、敷島製パンも「創業 100 年」に向けて会社史の編纂に入るところだということでした。今後はお互いの情報交換をしましょうと、心強いご返事を貰い、敷島製パン本社を退席しました。

次に訪ねたのが、小鈴谷小学校です。この学校には、著名な「鈴溪義塾」の関連資料を保管・保存している「鈴溪義塾資料室」があります。善平は、鈴溪義塾の前身小鈴谷郷学校(後の鈴溪学校)の卒業生です。

資料室の室長さんは、小鈴谷小学校の I 校長が兼務されています。校長先生から展示品の説明を詳しく受けました。また、特別展開催の折には、展示品の関連資料を借用できることも快諾戴きました。善平のことに詳しい元学校長の N さんも紹介頂きました。

ここで新しい発見が二つありました。一つは、日記が残されていて、その中に明治 21 年に麦酒の試飲をしたというような記述が見つかりました。推測ながら、半田の丸三麦酒ではなかったかと思われます。

もう一つは、「鈴溪読本・盛田善平」の項の中に、「明治の初め、日本に郵便制度が設けられた時、善平の父(筆者注・太助)は、その重要性を早くから認め、国や村の発展のためにと、まっ先に郵便の取り扱を開始した。この地方としては、初めての郵便局、西洋風の素晴らしい建物の中で、その仕事を善平は、一手に引き受けた。」の記述がある。善平が麦酒事業のほかにも、郵便事業にも携わっていたことが分かった。

## ■ 定 款 (抄)

### 【法人の名称】

一般社団法人赤煉瓦倶楽部半田

### 【目 的】

当法人は、貴重な旧カフトビール工場の半田赤レンガ建物及び旺盛な起業家精神を顕彰するとともに、後世に引き継ぎ、それを活かしたまちづくりに関する事業を行うとともに、赤煉瓦に関係するネットワークと連携し、赤煉瓦を活かしたまちづくりを支援する活動を行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

### 【会 費】

- (1) 入会金 1,000 円
- (2) 年会費
  - ① 個人会員 2,000 円
  - ② 法人・団体会員 10,000 円  
(団体は 10 名以上)
  - ③ ボランティア会員 無料

### 【活動年度】

毎年 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日

総会は、毎年 1 回開催する

### 【運 営】

当会の運営は理事会で行う。運営にあたり次の役員を置く。

- (1) 理事 5 人以上
- (2) 監事 1 人以上

理事のうち、一人を理事長、2 人を副理事長とする。

### 【事業年度】

毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの年 1 期とする。

### 【年会費振込先】

知多信用金庫本店営業部

普通 0554403

(社)赤煉瓦倶楽部半田

## ■ 編集後記

2 月の新春合宿で、今後の活動の基本方針として、「倶楽部らしい・倶楽部だからこそその事業の展開」を宣言しました。今後最大の事業は 10 月開催予定のドイツフェスティバルです。ドイツ風のドイツ祭りは現在開催されていますが、倶楽部が目指すのは「本格・本物ドイツフェスティバル」です。

昨年末から企画内容の検討を進めてきましたが、ようやく目的に近い内容になってきました。ドイツ国総領事もお見えになる予定です。中部地区で初めての本格ドイツフェスティバル、恥ずかしくない事業にしたいと思えます。会員皆様方のご参加、また絶大なる協力をお願いいたします。(NB)

郵便事業のことに関しては、現在調査中のことが多くあり、詳しくは書けないが、要約だけ記しておきます。

盛田太助が、小鈴谷で郵便局を開設したのは、明治 9 年 3 月 16 日。その時の名称は、小鈴谷郵便局ではなく、「三谷郵便取扱所」(後に三谷郵便局に改称)でした。三谷の名称は、当時の三谷村の地名からきているようです。明治 20 年になって、三谷郵便局は局舎移転廃局になりました。移転先は、武豊。同年 4 月 1 日、武豊郵便局開局。初代局長は、盛田太助でした。三谷郵便局が廃局され武豊郵便局が開局になった経緯については、「知多郡南部の郵便局沿革概誌」によれば、明治 19 年、武豊線が敷設されたことに伴ってのことでした。なお、小鈴谷郵便局は、明治 33 年 3 月 6 日に再度開局され以上、調査研究チームからの報告です。

## 今後の事業計画

### 【1】カフトビールフェスタ 2019

■日時:令和元年 7 月 13 日(土)~15 日(月)

■場所:半田赤レンガ建物 16 時~21 時

■内容:大正 2 年創業の門司のサクラビールと復刻ビール対決

### 【2】キャナルナイト

■日時:令和元年 8 月 9 日(金)・10 日(土)

■場所:半田運河鞆のまち広場

■内容:カフトビールの販売、PR

### 【3】2019 特別展「盛田善平のすべてをたどる!」

■日時:令和元年 9 月 14 日(土)~10 月 20 日(日)

■場所:半田赤レンガ建物(企画展示室)

### 【4】ドイツフェスティバル

■日時:令和元年 10 月 12 日(土)~10 月 14 日(月)

■場所:半田赤レンガ建物全館

■後援:ドイツ総領事館、日独協会、南山大学、ルフトハンザ航空

■内容:本格的なドイツの音楽・文化及び食のフェスティバルを開催。敷島製パン、神戸フロインドリーブ出店予定